

平成 28 年度事業報告書

平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日

1、事業の成果

高次脳機能障害者と家族に対し、相談会を県下 5 カ所で実施したことに合わせて、今年度はその地域での啓発のための講演会を実施した。家族の生活の改善につながり、癒しや生きる強さを持ってもらえた。また行政や医療機関一般社会へ向けての啓発ができ、相談件数や相談会の参加が多くなってきた。

また高次脳機能障害の就労支援に関して全国の支援者連絡会を広島で実施したこと、広島地域の医療、就労、福祉関係機関の参加があり、今後の連携のきっかけができた。

2、事業内容

特定非営利活動にかかる事業

(1) 高次脳機能障害および家族への支援に関する事業

【相談支援事業】

決算 3,723,786 円

| 場所・日時 | 内容 |
|------------------------------|--|
| 廿日市相談会 | 地域の拠点病院廿日市記念病院、五日市記念病院の ST、OT、相談員の方の参加が毎回あり、お互いの情報交換にとても役立っている。 参加人数も増えて、家族同士が学びあう場になっている。 |
| 日 時 | 第 1 木曜日 10:00～12:00 |
| 場 所 | 廿日市総合福祉センターあいプラザ |
| 受 益 者 | 利用延べ人数 100 名 医療関係者 15 名 |
| 広島市中区相談会 (広島市高次脳機能障害支援事業) | 専門家と家族体験者がグループ形式で、参加した家族のそれぞれの悩みや対応法を話し合いながら、参加したみんなが解決策を考えている。お互いの勉強になっている。 個別相談：生活支援、交通事故示談、福祉サービス利用について 毎月第 2 火曜日 生活相談:10:00～12:00 (グループ形式で) 個別相談：14:00～16:00 (予約制) 23 件 |
| 588,000 円 | |
| 日 時 | |
| 場 所 | 広島市中区地域福祉センター 5 階 |
| 受 益 者 | 利用延べ人数 117 名 個別相談 23 件 |
| 呉 相 談 会 | 参加者がなかなか増えなかつたが、今年は定期的に通ってくるご家族も増えてきた。 当事者ワークも実施。当事者 2～3 名 |
| 日 時 | 毎月第 4 木曜日 14:00～16:00 |

| | |
|---------|---|
| 場所 | 呉市つばき会館 |
| 受益者 | 利用延べ人数 91名 当事者 31名 |
| 備後地区相談会 | 一昨年からみつぎ総合リハ病院のスタッフの皆さんのが参加いただくことから、福山リハビリテーションセンターの相談員さんも参加されるようになり、参加者もどんどん増えてきた。福山在住の家族の参加も増えてきた。 |
| 日時 | 毎月第2金曜日 10:00~12:00 |
| 場所 | 三原サンシープラザ |
| 受益者 | 利用延べ人数 167名 関係機関の方 57名 当事者 40名 |
| 東広島相談会 | 時間を繰り上げて相談会を実施したが、高次脳機能障害の拠点病院なのに、参加者が他の地域より少ない。 |
| 日時 | 毎月第3火曜日 13:00~15:00 |
| 場所 | 広島県立障害者リハビリテーションセンター2階多目的室 |
| 受益者 | 参加者延べ人数 90名 |
| 従事者 | 社会福祉士・言語聴覚士・法律家助手・家族体験者・関係機関職員 |
| 実施成果 | ・各地域での相談会の実施で、いろいろなパターンが見え、高次脳機能障害のむつかしさを感じる。みつぎ病院のように医療機関の人が参加していただくことで廿日市記念病院などからも参加いただけるようになった。生活場面でのエピソードを聞いていただくことで、高次脳機能障害の特徴を理解してもらえる機会になっている。 |

(2) 障害者総合支援法に基づく福祉サービス事業

決算 17,298,822 円

【クラブハウス・シェイキングハンズ】

チャレンジ（就労移行支援事業）

| | |
|------|--|
| 内容 | 一般就労を目指す人を対象に訓練を行う。 ジョブライフサポーターの方が毎月当事者の面談に来て、職場見学を企画してくださいり、その後職場体験を数社実施して、通う職場の距離や、自分に見合った職場を選ぶことで、スムーズに、面接、就労につながった。 |
| 事業日程 | 通年月曜～金曜 10:00～15:00 |
| 場所 | クラブハウス・シェイキングハンズ |
| 従事者 | サービス管理責任者・就労支援員・生活支援員・職業指導員 |
| 受益者 | 12名 新規利用者 7名 (うちワークより 3名) |
| 実施成果 | 一般就労 5名 ワークステージへ移行 1名 他の事業所 1名 |

ワークステージ（就労継続支援 B型）

| | |
|------|---|
| 内容 | 仲間と共に自分の障害と向き合い、補う工夫を見つけ、就労に向けての準備をする。プログラムの内容の充実と振り返りの質問や言葉がけなど、スタッフの声掛けより当事者同士、お互いの気づきや声掛けが充実してきた。5~6 年のメンバーが作業中心の別の B 型事業所に移行した。 |
| 事業日程 | 通年 月曜日～金曜日 10：00～15：00 |
| 場所 | クラブハウス・シェイキングハンズ |
| 従事者 | 生活指導員・職業指導員 |
| 受益者 | 利用者登録 14名 1日当たり 9名 |
| 実施成果 | 別の就労継続支援B型へ移行 3名 もっと働くことを目指して 新規利用者 4名（うちチャレンジから 1名） メンバー全員の通所日数が増えってきた。 |

（3）就労支援事業（当事者工賃事業）

決算 757,206 円

| | |
|------|---|
| 内容 | ベルテガーデン清掃、広島市就労支援センター内職 石鹼作業 清掃作業はグループで実施。 内職作業は仲間とコミュニケーションを取りながら実施。 |
| 事業日程 | 通年月曜日～金曜日 10：00～15：00 |
| 従事者 | サービス管理責任者・生活指導員・職業指導員 |
| 実施成果 | 作業をグループで実施することで、仲間とのコミュニケーションの訓練になっている。また、一般社会での作業なので、あいさつや作業の配慮の勉強になっている。清掃作業を通してその人の能力を観察できること、時間経過で当事者の変化がわかる。 |

（4）高次脳機能障害者の一般社会への啓発活動及び広報活動に関する事業

決算 935,320 円

| | |
|--|---|
| H28年6月18日 広島市地区勉強会 (広島市中区地域福祉センター) 参加者 160名 | 演題「高次脳機能障害者の地域生活」 ①「高次脳機能障害とその特徴」 講師：岡本隆嗣さん（西広島リハビリテーション病院 院長） ②「作業療法士から見た地域生活」 ～横浜市障害者自立支援アシstant事業から～ 講師：野々垣睦美さん（クラブハウスステップなな統括所長） ③座談会「一人暮らしを続けている息子を離れて見守る親の思い」 岡本隆嗣さん、野々垣睦美さん、内田幸雄さん、むつ子さんご夫妻 |
|--|---|

| | |
|--|---|
| H28年10月23日 三原勉強会 (本郷学習センター) 参加者50名 | <p>演題「高次脳機能障害を持って生きるー働きながら暮らすということー」</p> <p>① ミニレクチャー「高次脳機能障害とは」 講師：本多留美さん（言語聴覚士・NPO法人高次脳機能障害サポートネットひろしま） ② 対談「働きながら暮らすということ」 当事者：大岩登さん　家族：大岩寛子さん 体験者の生活エピソードを専門職の本多先生が解りやすく障害について解説いただき、理解しやすい講演会であった。</p> |
| H28年11月6日 廿日市地域勉強会 (廿日市記念病院) 参加者：60名 | <p>演題「高次脳機能障害を持って生きるー働きながら暮らすということー」</p> <p>① ミニレクチャー「高次脳機能障害とは」 講師：本多留美さん（言語聴覚士・NPO法人高次脳機能障害サポートネットひろしま） ② 対談「働きながら暮らすということ」 当事者：大岩登さん　家族：大岩寛子さん</p> |
| H28年12月4日 東広島地域勉強会 (県高次脳センター) 参加者：30名 | <p>演題「高次脳機能障害をもって生きるーひとりで暮らすこと、働くことー」</p> <p>座談会 「ひとりで暮らすこと、働くこと」 内田さんご夫妻（ご家族）・上谷哲也さん（太田川学園相談事業所）・山田・藤原・本多 一人暮らしの当事者を遠く離れて見守る親の気持ちをお話しいただくとともに、地域での支援者との連携を示し、福祉制度やサービスについて学んでいただく機会とした。</p> |
| H29年1月28日 呉市地域勉強会 (ビューポートくれ) 参加者 40名 | <p>演題「高次脳機能障害をもって生きるーひとりで暮らすこと、働くことー」</p> <p>座談会 「ひとりで暮らすこと、働くこと」 内田さんご夫妻（ご家族）・上谷哲也さん（太田川学園相談事業所）・山田・藤原・本多</p> |
| H28年10月30日 (廿日市市総合福祉センター多目的ホール) 参加者 60名 | <p>就労支援者の集い「高次脳機能障害者の就労に必要なこと」午前の部 全国事業所職員ネットワーク研修会「支援の視点を学ぶ」午後の部 全国の高次脳機能障害者を支援しているの就労移行支援事業所の集まり（就労支援者の集い）と日本脳外傷友の会加盟の施設職員の研修会（全国事業所職員ネットワーク研修会）を午前と午後に分けて広島で実施した。広島地域の医療・福祉施設や職業センターから多くの参加をいただき、高次脳機能障害者の支援の視点を考えるきっかけになった。</p> |
| 冊子作成 | <ul style="list-style-type: none"> ・「高次脳機能障害からの立ち直りをめざして」 700部（損保助成）190,000円 ・「高次脳機能障害の地域生活」 ～息子が何とか一人暮らしができている理由～ 500部 192,240円 ・「支援の視点を学ぶ」 500部（日本脳外傷友の会）181,440円 ・振込用紙付きチラシ 3,000部（広島廿日市ロータリークラブ） 213,840円 |

| | |
|--|---------------|
| | ・ホームページでの情報発信 |
|--|---------------|

(5) 家族支援事業

決算 527,654 円

| | | |
|---|---|------------------------------|
| 家族交流会 | 毎月第2火曜日 中区相談会の後、13時～15時まで 場所：広島市中区地域福祉センター5階 | |
| 平成28年4月 当事者10名 家族20名 | 日本脳外傷友の会代表者会議に参加して、 厚労省、国土交通省に、出向き話し合う。 茶話会交流会（三原サンシープラザ） 当事者3名とコバックさんのマジックショー 家族交流会でいろいろな悩みを語り合う | 濱田・守下 |
| 平成28年10月 平成28年10月 当事者10名 家族20名 | パイロットウォークに参加。 日本脳外傷友の会運営委員会 日本脳外傷友の会全国大会 in 高知 広島からの参加者は30名以上。高知ということでお酒が出ていたため、当事者が酔っぱらっている人も多かった。 | 役員他8名 濱田 家族会役員 他30名 |
| 平成28年11月27日 (広島県健康福祉センター) 参加者150名 | 損保助成金リハビリ講習会 「高次脳機能障害からの立ち直りをめざして」 ① 演題：『『見えない障害』を生きる～高次脳機能障害者のリハビリテーションと当事者・家族の役割～』 講師：上田敏さん（日本障害者リハビリテーション協会顧問） ② 演題：『地域生活の自立につながるリハビリテーションを考える』 講師：野々垣睦美さん（クラブハウスステップなな 統括責任者） | 濱田・日山 松田・守下 |
| 平成29年3月4日 (東区地域福祉センター) 70名 | 高次脳機能障害地域支援ネット中国ブロック会議・研修会（広島） 中国地方各県の取り組みについての報告 研修会①演題「交通事故・労災事故後の補償について」 講師：中井克洋さん（メープル法律事務所 弁護士） ②演題「年金診断書の作成に当たって」 講師：畠谷栄子さん（社会保険労務士） | 濱田・日山 松田・赤木 守下 |

その他の活動事項

| | 日時 | 場所 | 担当者 |
|-----------|------------------|--|----------|
| 施設研修会講師派遣 | H28年7月 H28年8月 | 全国地域リハビリテーションリハ合同研修会 ジョブコーチ養成研修「障害特性と職業的課題」 | 濱田 山田 |

| | | | |
|----------------|---|--|---|
| | H28年9月 H28年9月 H28年11月 | あけぼの祭「高次脳機能障害とともに」 朝日文化事業団主催 「高次脳機能障害を生きる・共に生きる・家族の支え」 第40回日本高次脳機能障害学会総会 エクスパートに聞く5 「高次脳機能障害の方の暮らしが見えていますか？一家 族に学ぶ「問題」の読み解き方」 | 濱田・本多 濱田 綿森淑子 本多留美 松田夫妻 |
| | H28年12月 H29年1月 H29年2月 H29年3月 | いでしたクリニック研修会「体験から学ぶ」 いでしたクリニック研修会「家族として支援者として」 廿日市市高次脳機能障害研修会 「高次脳機能障害ってどんなこと」 「高次脳機能障害とは」大島居宅介護支援事業所研修会 | 松田夫妻 濱田 本多 松田夫妻 濱田 |
| 実習受け入れ | | あけぼの職員1名【1週間】 | |
| 施設見学・研 修会参加 | H29年 3月4日 H29年 3月11日 ～12日 | 就労支援基礎セミナー（広島県就労振興センター主催） ～認知面の障害特性を理解して就労支援に活かす～ JC-NET会議（NPO法人ジョブコーチネットワーク） 「就労支援の今」小川浩氏 「定着支援：自己肯定感や所属感を高める支援」 「改めて職場定着を考える～採用前から始まる定着に 向けたプロセス～」 発達障害の就労移行支援プログラムを学ぶことで、高次 脳機能障害の違いが理解でき、最近発達障害がありなが らの高次脳機能障害者も見る機会があるために、とても 勉強になった。 | 藤原 山田 守下 藤原 |
| 連携機関 | 月1回開催 2か月に1回 毎月1回開催 | 広島障害者就労支援協議会 就労移行支援事業所ネットワーク会議に参加 広島市自立支援協議会就労系事業所連絡会 廿日市自立支援協議会精神部会に毎月参加 呉障害児者支援連絡協議会に毎月参加 | 山田 山田 濱田 日山 |